

2023年度 事業報告

一般財団法人 宮城県成人病予防協会

I. 総括

2023年度も感染症に加え、国際紛争や自然災害など不安定な社会情勢の影響により、物価高止まりの改善は見られませんでした。2022年度にLED照明設備導入等省エネ対策を実施しましたが、電気料金上昇によりその効果を相殺され、その他費用面でも値上げ等コスト増を避けることができず厳しい運営を余儀なくされました。そのような中ではありましたが、看護職員処遇改善評価料に基づく職員の賃金改善と、業務効率化に資するDX推進の取り組みは、継続し実施してまいりました。

病院部門では、心臓血管外科の外部支援体制の変更による手術件数の減少が見込まれたため、循環器内科の治療分野の積極的拡大など対策を実施しましたが、業績の完全リバースには至らず、また、安定的な入院稼働率と在院日数の確保にも課題が残り、計画比・昨年度比ともに利益を落とす結果となりました。

健診部門では、一部受診先における健診機関変更などがあったものの、新規受診先の開拓とコスト増の一部を価格へ転嫁するなどの取り組みにより、計画比・昨年度比ともに利益の増加を実現できました。

全体では、昨年度に得られた補助金等の収入は減少したものの、2023年度も黒字を確保して終えることができました。2024年度の運営は既に始まっておりますが、病院部門は昨年度の課題解消と診療報酬改定への対応、健診部門は引き続き顧客ニーズの掘り起こしによる受診先の新規開拓などに取り組んでおります。

II. 診療部門事業報告

仙台循環器病センター

1. 事業計画の達成状況

①医師の働き方改革への対応に際し、引き続きタスクシフト、新しい就労制度の整備を経て、医師の健康管理に配慮した勤務環境を整備します。

→ 医師の働き方改革への対応として、労働時間の管理を実施するために必要な仕組みづくり、就労制度の整備を進めてまいりました。

具体的には、医師の夜間・休日労働に関する宿日直許可を取得したほか、労働時間や勤務間インターバル・代償休憩の取得状況等を可視化するため、新たな勤怠管理システムを導入・活用しました。それにより、就業状況の常時確認が可能となり、適切な管理体制の構築につながりました。

その一方で、定年退職や医局異動による常勤医師の欠員を期中に補充することが叶わず、医師のマンパワー不足が続き、医師の勤務負担と医業収益の両面に課題を残すところとなりました。

②専門病院・急性期病院として地域への貢献度を高めるため、チーム医療を支える人材の確保と育成に取り組み、医療内容の充実によって収益性の改善につなげます。

→ 病棟薬剤師の配置、栄養サポートチーム、がん患者リハビリテーション、外来腫瘍化学療法診療料1を新たに届出し、医療の質向上に繋げました。

2. 診療実績

①外来患者延べ数	46, 405名
②入院患者延べ数	29, 107名
③手術件数	326件
④心臓カテーテル件数	948件
⑤心臓ペースメーカー植込術件数	68件
⑥R I 検査数	380件
⑦心臓C T 検査数	797件

III. 健康診査部門事業報告

1. 収益性の改善

巡回健診では、コロナ渦以降続いた中小事業所の受診人数の減少傾向は改善しつつあります。ですがコロナ渦前には戻ってはおらず、また、首都圏に本社を置く全国規模の事業所における健診機関の集約の影響もあり、受診人数は前年比98.5%、▲1,200名減少となりましたが、個人を対象としたオプション検査の拡大や健診料金の改定により健診単価を引き上げられたことで増益を確保できました。

施設健診では、人間ドックや胃カメラの予約枠の拡大に努めたことで健康診断・人間ドックとも受診人数が増え、健診料金の改定も加わり増収増益となりました。

2. 業務効率化

施設健診では、健診のWEB予約化を推進するとともに、健康診断や人間ドックにWEB問診を導入することで問診票のペーパーレス化が図られ、問診読み取り作業が削減する等、受付および結果処理業務の精度アップと効率化が進みました。

また、紙運用であったストレスチェックについてもWEB版をテスト導入し、問診票回収作業の削減や結果報告のスピード化等、結果処理業務の効率化が図られることが確認されたため、2024年度から顧客向けに展開して参ります。

3. 情報セキュリティ対策

企業を狙ったマルウェアが巧妙化するなか、サイバー攻撃や不正アクセスに関するより高い防御対策として最新技術を取り入れ、業務用ネットワークからWEB閲覧を分離する「インターネット分離」を構築したことで、高い情報セキュリティを実現しました。

また、パートを含む全職員に対して医療機関におけるサイバーセキュリティ対策を

テーマとした研修教育を実施し、職員の情報セキュリティ意識と理解を高めました。

4. 精度の向上

- ①外部精度管理事業として健診施設の機能評価認定の更新を行い、健診業務の精度管理向上に取り組みました。
- ・日本人間ドック学会施設機能評価
 - ・全衛連労働衛生サービス機能評価

- ②下記の精度管理事業に参加し、優秀な評価を得ました。

- ・日本医師会精度管理（臨床検査）
- ・宮城県臨床検査技師会精度管理（臨床検査）
- ・日臨技臨床検査精度管理調査（臨床検査）
- ・日本総合健診医学会精度管理（臨床検査）
- ・全衛連総合精度管理（胸部/胃部エックス線写真・臨床検査・労働衛生検査・腹部超音波検査）

5. その他

「2023年度健康セミナー」を開催

- ・開催日：令和5年11月16日
- ・開催場所：仙台サンプラザ
- ・参加団体：12市町村、31事業所 71名
- ・内容：講演1 「ナッジ理論で伸ばす健康寿命」

株式会社キャンサースキャン
代表取締役 福吉 潤 先生

講演2 「健康診断で早期発見 腎臓を守るためにできること」

東北医科大学 若林病院
腎臓内科科長 安藤 重輝 先生

6. 健診実績

	受診人数	前年比
①住民健診	69, 276名	99.5%
②事業所健診	208, 056名	100.0%
③学校健診	81, 814名	96.9%
④人間ドック	19, 468名	104.0%

IV. 公益活動

1. 健康増進と疾病予防を図るため、生活習慣病予防に関する普及啓発、調査研究、情報収集・提供をしました。

1) 調査研究・情報収集・提供

①事業年報の作成・提供

自治体・大学・企業・健診団体等への提供 200部

②機関誌「TWO BIRDS」の発行（3回）

2023年4月・9月・2024年1月 計15,000部

③健康増進に係る学会・研修会参加

日本産業精神保健学会、消化器がん検診学会等に参加しました。また、保健指導に関する21の研修会に述べ33名が参加しました。

④調査研究

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所の実施する「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究」の調査に協力しました。また、東北大学の研究事業「市町村および職域の特定健康診査会場における尿N a / K 比計実装の試み」に参加しました。

2) 健康教室・運動教室の開催等

・予防啓発に関する講演・講話 72回 2,360名参加

「食生活と健康」、「こころの健康を保つために」等

・各種健康教室、運動教室・介護予防教室 30回 376名参加

「糖尿病予防のための運動」、「腰痛予防講習会」等

2. 健康診断の結果等に基づいて健康づくり支援を実施しました。

1) 地域住民に対して

健診の事前指導・事後指導・結果説明会および各種健康相談の実施

36回 453名参加

特定保健指導 1,071名実施

2) 産業保健分野に対して

健診の事前指導・事後指導・結果説明会及び各種健康相談の実施

53回 347名参加

特定保健指導 639名実施

V. 理事会および評議員会の開催状況

1. 理事会

定時第1回 2023年5月25日 於：ホテルメトロポリタン仙台

第1号議案 2022(令和4)年度事業報告(案)承認について

第2号議案 2022(令和4)年度収支決算(案)承認について
第3号議案 任期満了に伴う次期役員(理事・監事)の推薦について
第4号議案 定時評議員会の招集および提出議案について

定時第2回 2024年3月21日 於：ホテルメトロポリタン仙台

第1号議案 2024年度事業計画(案)の承認について
第2号議案 2024年度収支予算(案)の承認について
第3号議案 定款の一部変更について
第4号議案 就業規則の一部改定について
第5号議案 規程の一部改定について

2. 評議員会

定 時 2023年6月15日 於：ホテルメトロポリタン仙台

第1号議案 2022年度事業報告について
第2号議案 2022年度収支決算の承認について
第3号議案 任期満了に伴う次期役員(理事・監事)の選任について

臨 時 2024年3月21日 於：ホテルメトロポリタン仙台

第1号議案 2024年度事業計画(案)の承認について
第2号議案 2024年度収支予算(案)の承認について
第3号議案 定款の一部変更について
第4号議案 就業規則の一部改定について
第5号議案 規程の一部改定について

VI. 附属明細書について

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上